

目次	
口絵	
序	
凡例	
総合解説	1
第一章 領主の支配と村・地域	15
第一節 領主の支配をうける村・地域	16
領主支配・財政を支える／年貢・役を納める／把握される村の状況	
第二節 村内の動き	61
村を治める／相給と組	
第三節 地域間のつながり	85
つながる地域／村人の移動／地域間の利害と争論	
第二章 土地の利用・開発と多発する災害	119
第一節 土地と水	120
土地を持つ・利用する／土地を拓く／用水の確保と排水問題	
第二節 防災と災害	158
防災対策／災害の諸相／災害からの復旧	
第三章 城下町	197
第一節 岡崎	198
町並と町に暮らす人々／土地所持と年貢・諸役／町の政治	
第二節 西尾	234
町並と町に暮らす人々／土地所持と年貢・諸役／町の政治	
第三節 刈谷	245
町並と町に暮らす人々／土地所持と年貢・諸役／町の政治	
第四節 挙母	257
町並と町に暮らす人々／土地所持と年貢・諸役／町の政治	
第四章 産業	277
第一節 村の生業	278
農作物と塩づくり／川と海の営み／山の営み	
第二節 特産品の生産	298
木綿／味噌・酒・味醂／瓦／雲母	
第三節 職人と諸稼ぎ	335
大工・木挽・材木流し／鍛冶・鋳物師／石工／水車稼ぎ	
第五章 交通・流通・金融	369
第一節 陸上交通	370
街道と宿駅／近世の旅	
第二節 水上交通	394
江戸廻船／伊勢湾をめぐる船／川船／湊と河岸	

第三節 商人の活動	420
在方商人／流通をとりまく環境	
第四節 地域金融	439
金融講／質屋の経営／豪農による金融	
第六章 寺院と神社	467
第一節 寺社の維持と運営	468
松平・徳川家ゆかりの寺社の活動／寺社の運営と民衆	
第二節 寺社組織と民衆	507
本末制度・触頭制と寺檀関係／寺社をめぐる諸争論・組織と地域	
第七章 家と暮らし	555
第一節 家	556
家格と由緒／家の永続	
第二節 ライフサイクル	576
出産と子供／成人／老いと死	
第三節 暮らし	613
暮らし	
住まい／暮らしの記録／村の一年	
第八章 文化	639
第一節 地域に根ざす文化	640
花火／万歳	
第二節 書籍と教養	667
教育と書籍／文芸／諸芸と娯楽	
第三節 病気と医療	707
第四節 祭りと信仰	718
祭り／信仰	
第五節 地域の記録	730
第九章 社会	743
第一節 さまざまな身分の人々	744
身分間に生きる／差別を受けた人々の諸相／徘徊する人々	
第二節 社会不安とその対応	767
第三節 飢饉	788
天明の飢饉／天保の飢饉	
第四節 民衆のたたかい	800
加茂一揆／さまざまなたたかい	
第五節 幕末期の諸情勢	831
政治情勢への対応／幕末期の世相／ええじゃないか	
第十章 在郷町足助	855
在郷町足助	
第一節 日記にみる足助	856

第二節 足助の町と周辺村々	904
足助の町のしくみ／周辺村々との関係	
第三節 足助の町と地域経済圏	939
馬塚ぎの諸相－足助塩と荷之口争論－／足助の商人たち／飯田街道と巴川	
解説	971
資料群解説	1075
あとがき	1105
執筆分担	1108
資料提供者及び協力者	1109
愛知県史編さん関係者名簿	1112
掲載史料編年一覧	1119